











## 1 学校教育目標

『かしこく やさしく しなやかな 栗島の子』

## 2 めざす学校像、児童・生徒像、教師像

○学校像	・学力向上に取り組む学校  ・児童に寄り添う学校  ・体力向上に取り組む学校 
○児童・生徒像	・かしこい子   ・やさしい子  ・しなやかな子 
○教師像	・自己研鑽する教師  ・児童に寄り添う教師  ・児童と共に汗を流す教師 

## 3 学校の現状及び前年度の成果と課題

全学年2クラスの12学級とコミュニケーションの教室「スマイル教室」の編成で児童数301名のスタートである。昨年度までに校舎内と教室の改修、校庭の人工芝化が終わり快適な生活環境となった。校庭や学年花壇には、どんぐりなど実のなる木々や草花、野菜が植えられ、ビオトープやミニ水田、スマイル農園を併設し、季節の移り変わりを実感できる。

全職員が統一して組織的に指導や取組を行い、毎月の「詩の暗唱」や生活規律の「み・そ・あ・じ」は定着しつつある。更に「進んであいさつ」を深めたい。6年生による全校朝会の代表挨拶は、最上級生としての誇りと責任感を高め、学校の機動力となっている。ICTやAIドリルを活用し個に応じた授業や家庭学習を行う。

今年度は70周年の節目の年である。学校全体で、環境を整え、教科や行事、体験活動を充実させて楽しい学校作りを進める。地域や家庭との連携をはかり、地域を愛し、地域に愛され、地域に根ざした学校を目指す。

## 4 重点的な取組事項

	内 容	実施期間（年度） R:令和				
		R3	R4	R5	R6	R7
1	学力向上アクションプラン	○	○	○	○	○
2	豊かな心の育成	○	○	○	○	○
3	保護者や地域との連携			○		○

## 5 令和5年度の重点目標

重点的な取組事項－1		学力向上アクションプラン							
A 今年度の成果目標		達成基準 (目標通過率)		実施結果 (通過率結果)		コメント・課題		達成度 ◎○△●	
授業力と基礎学力の向上		75%		86.3% (国 83.7 算 88.8)		・区学力調査において昨年度に引き続き3%上昇し達成基準を上回った。引き続き、習熟度に応じた学力の向上・定着を図る。		◎	
B 目標実現に向けた取組み									
新・継	アクションプラン	対象・実施教科	頻度・実施時期	具体的な取り組み内容 (誰が、何を、どのように)	達成確認方法	達成目標 (=数値) (いつ・何を・どの程度)	実施結果	コメント・課題	達成度 ◎○△●
1 継	A I ドリルの活用	全学年・5教科	通年	A I ドリル (個別最適な学び・基礎学習のための家庭学習の充実)	家庭学習の提出	提出率 90%以上	クラスルーム等で家庭学習を掲示している。	担任による提出調査において・学習の定着状況と具体的な取組は6(1)を参照	◎
2 継	I C T 活用	全学年・5教科	毎日	① I C T 活用の授業実施 ② 児童のタブレット活用 プレゼン利用	週案、授業観察による確認	毎日の活用	全学年が毎日 I C T、タブレットを活用している。	タブレット強化月間では組織的な取り組みをして表彰を受けた。	◎
3 継	朝学習	全学年 国語(漢字) 算数(計算)	火(漢字) 水(計算) 金(詩文、百人一首)	【体制】担任 【教材】新出漢字 ベーシックドリル 詩の暗唱ファイル	ワークテスト 新出漢字 詩の検定	取組内容の 80%定着が 80%以上	ベーシックテスト 8割定着が75% 詩の検定合格10割	昼の放送で詩の朗読合格者発表を行い、意識を高める。	○
4 継	補習指導 チャレンジ学習	国語・算数 A50% B目標値	毎週火曜 放課後	【体制】担任、副担任(専科) M I M、ワークテスト ベーシックドリル	ベーシック テスト	卒業 A 6割 B 8割	2年生の卒業 6割 3～6年生の卒業 5割以下	全教員によるチャレンジ教室6回実施	○
5 継	夏休み 補充教室	全学年 国語・算数	夏季休業 10日	【体制】低・高学年 担任 中学年 担任・専科 【目的】夏休み前の復習 【教材】ドリル・プリント	出席状況	出席率80%	奇数学年5日偶数学年5日の実施のため 復習のみ実施	出席率80% 12名 中10名 83.3%	◎
6 継	学力向上 そだち指導	低学年 中学年 国語・算数	通年	【目的】つまづき内容の解消 【教材】プリント等を利用した補充学習	卒業試験 校内委員会	対象児童ごとの達成基準	3期合計36名が各 規準に則り卒業	保護者アンケートでは躓きが解消し自信ついたと好評。	◎

7 継	教員の 授業力 向上	全教員	通年	若手教員 研修授業 10 回 OJT 小中連携 7 回 全教員の研究会等参観	習熟度に応じ た研究授業と アンケート	授業観察 ・肯定的評価 8 割	・教科指導専門員の 肯定的評価 8 割、 ・小中連携授業公開 及び研修 7 回実施	全職員の指導教諭模 範授業参観、校内伝 達、区小研参加 O J T 18 回実施	◎
--------	------------------	-----	----	---	---------------------------	-----------------------	--	---	---

重点的な取組事項－2		豊かな人間性の育成							
A 今年度の成果目標		達成基準		実施結果		コメント・課題		達成度	
自己有用感を高める		肯定的評価 80%以上		児童アンケート 学校が楽しい 94.3% 授業が楽しい 86.1% 夢や目標がある 85.1% 自分のことが好き 85.5%		体験学習の充実。日本 茶、落語、読み聞かせ、 租税教室、縄跳び教室、 ソフトボールリボン、会計 出前授業等多数実施		◎	
B 目標実現に向けた取組み									
項目	達成基準	具体的な方策		実施結果		コメント・課題		達成度	
みそあじの徹底	みそあじを実行できた 肯定的評価を児童アン ケートで80%以上	身だしなみ、掃除、挨拶、時 間を守る項目について全校統 一して指導をする。		児童アンケートより みそあじに気をつけた 90.5%		朝礼での賞賛、児童会 の取り組み等実施。校 外学習前にも意識付け をした。		◎	
特別活動の充実	学校が楽しいと肯定的 評価80%以上	行事、係活動、委員会やクラ ブ活動の充実 70周年行事に向けての目標 と振り返り指導		児童アンケート 学校が楽しい 94.3%		全行事、集会で児童に 周年を意識させ「ステ ーキーやマスコット作り、式典 等に関わらせ愛校心、 地域愛を実感させた。		◎	
読書活動の推進	年間読書活動 全校で2.5万冊	読書旬間 読み聞かせ 調べる学習の指導 課題図書を紹介 お話会の実施 ブックトークやアニメシオン		年間読書冊数は全校で2.6万冊 読書旬間2週間6月11月2回 図書館支援員の読み聞かせ週2回 調べる学習 全員参加 課題図書を紹介、お話会、ブック トークやアニメシオンは全て実施		毎週の図書館支援員に よる読み語り、読み聞 かせは、やよい図書館 員、中井貴恵さん、縦 割り児童と様々な形態 で行った。		◎	

的な取組事項－3		保護者や地域との連携			
A 今年度の成果目標		達成基準	実施結果	コメント・課題	達成度
保護者や地域との連携した学校作り		学校評価アンケート 肯定的な回答80%以上	分かりやすい授業 87% 魅力ある学校づくり 89% 仲良く楽しい学校生活 97% 学習の基礎基本の定着 84% 登下校の交通安全 96%	保護者や地域の方々のお陰で交通事故0です。挨拶をさらに広げて指導する。	◎
B 目標実現に向けた取組み					
項目	達成基準	具体的な方策	実施結果	コメント・課題	達成度
70周年行事	周年行事アンケート 肯定的評価80%以上	周年行事、記念式典、記念誌、集会を通して学校の歴史に触れ周年を祝う気持ちを育てる	70周年記念事業大成功 95% 学校の歴史を知った 96% 学校が身近になった 96% 周年を祝う気持ちが育った90% 地域や保護者の絆の深まり84%	全学年で周年を祝う取り組みを実施した。 今昔比べ等学校の歴史や地域を学び愛する気持ちが育った。	◎
健康教育の推進	体力調査 区の平均上 健康診断後の受診8割 朝食の摂取率100%	正しい体力調査の実行 治療勧告を奨励 朝食の大切さの周知 (集会、お便り等)	Home&School 活用による 情報の適切な提供 99% 体力調査結果 握力他3項目達成 朝食の摂取率 94%	保健だよりを配信し、全校集会及び授業等でも朝食の大切さや生活習慣病予防の指導実施	○
朝会、集会、 地域交流の充実	短縄跳び週間 長縄跳び記録会	季節に応じた朝会や集会 スマイル農園との交流 地域清掃の実施	縄跳び講師招聘、指導法、記録会。 落花生、千住祇、米作り。 地域の団地や公園を清掃した。	地域交流実施100% 短縄、長縄を使った体力作りの推進	◎
安心で安全な学校作り	いじめの解決100% 体罰調査	複数で未然防止に努める。 WEBQU を年2回行い早期発見 早期対応する。コンサルテーション SNS親子教室等の開催 アンケート調査及び面談	WWEBQU 結果等を、生活指導毎週1回、校内委員会毎月1回等で情報共有し早期発見、早期学年対応に努め複数対応で解決した。 いじめ解決100%体罰0%	児童に寄り添う指導や支援を心掛け複数体制で生活指導及び学年内教科担任制を実施する	◎

## 6 まとめ

### (1) 今年度の成果と次年度に向けた課題及び解決の方向性

学力向上

(1)今年度の成果と次年度にむけた課題及び解決の方向性

【成果】学力定着度調査で、算数の正答率が4つの領域全てにおいて区平均正答率を上回った。昨年度比、通過率も上がった。

「学校での授業は分かる」と感じている児童が92.5%で、昨年度よりも5.8%上がり、区平均より4.6%高い。

全校で、足立スタンダードを基にした授業を徹底した結果、児童にとって「分かる授業」となった。

【課題】・算数に比べ、国語学習の定着状況が低い。5年生の「話すこと・聞くこと」、6年生の「書くこと」と「言語・情報・言語文化」領域の中でも漢字の読み書きは、全国の達成率を下回り、課題がある。

【対策】・漢字の読み書きは学習の基盤となる。漢字ドリル、漢字テスト、キュビナ等を活用した書く反復練習、文章の音読・微音読に取り組みさせる読む練習など、習熟するまで丁寧に確認する。また、詩の暗唱に取り組む中で、言葉のまとまりやリズムを意識させ、語彙力を高める。

・文章の読み取りに加えて、日常的に作文や要約に取り組ませ、自分の思いや考えを書き表す習慣を付けさせる。書いた文章は教員が丁寧に確認する。

・話し合う時のポイントを明確に示し、どんな工夫がされているのかを児童が理解した上で話し合い活動を行う。国語の時間だけでなく、他教科や特別活動の時間においても話し合いのポイントを意識し活用するようにさせる。

## (2) 保護者や地域へのメッセージ

・70周年記念式典、祝賀会にはたくさんの方々にご参加いただきました。実行委員会の皆さま、保護者の皆様には大変お世話になりました。本当にありがとうございました。これからも創立80周年に向けて教育目標「かしこく やさしく しなやかな 栗島の子」の実現を目指し、基礎学力の定着、豊かな心の育成、体力の向上を図ってまいります。

## (3) その他（学校教育活動全般について）

・ICT教育を進めタブレットやデジタル教科書、AIドリルの活用を行う。

・授業や学校が楽しいと感じられるような教育活動を取り入れていきます。